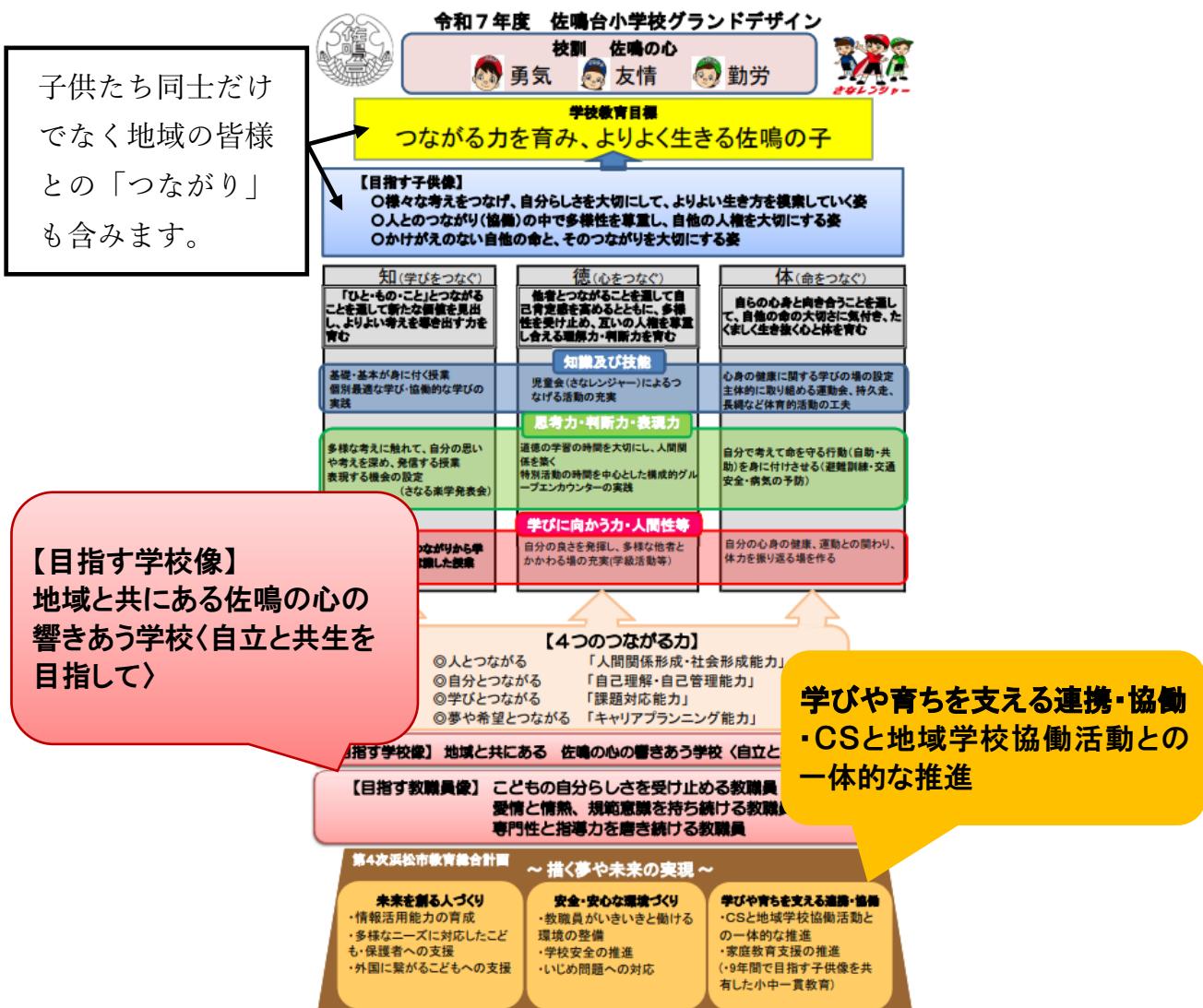


佐鳴台小コミュニティ・スクールだより

N.O.11 佐鳴台小学校 令和7年10月27日

「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会を設置する学校 以下CSと略)になって以来、多くの地域の皆様や保護者の皆様が子供たちの成長にかかわって教職員と連携・協働して子供たちの学びを充実させてきました。年4回程度実施している学校運営協議会でも、委員の皆様がグランドデザインをもとにして学校の目標や課題を共有し協議が行われ子供たちにとって必要な支援につなげてきました。佐鳴台地区のシニアクラブの皆さんや民生委員さんとの学期1回の交流や算数の力の定着のために「さなレンジャーSMILE」(佐鳴台地区や近隣にお住いの元教員の皆さん)などは協議でで体験をもとに実施している支援です。学校運営協議会の委員や議事録などの詳細は、本校のホームページに掲載していますのでご覧ください。また、学校運営協議会は、どなたでも傍聴することができます。ご希望がありましたら学校に御連絡ください。(TEL448-6768)

グランドデザインの中に、「CS」は下のように書かれています。



地域の皆さんから応援団 1

「コミュニティ・スクール」になってから、たくさんの保護者の皆様から、家庭科や図画工作などの教科の支援をしていただき感謝しています。本年度ものべ640名以上の方々のご協力をいただき、個々のニーズに応じた学習を行うことができています。ありがとうございます。また、地域の皆様からも大変多くの方々が佐鳴台小学校の応援団となって子供たちの授業の支援をしてくださっています。今回はその一部を紹介します。

6年生 総合的な学習「今の自分 未来の自分」

6年生のテーマでは、様々な職業の皆様の講話を通して働くことの意義や尊さを学び、職業に対する考え方を深めたり、自分を取り巻く社会とのつながりを実感し社会の一員としての自覚を促したりすることもねらいのひとつとしています。

職業講話の当日は、佐鳴台地区や近隣にお勤めの9つの職業の方が来校してくださいました。スポーツ選手、調理師、医師、薬剤師、警察官、保育士、動物病院にお勤めの方、美容師、イラストレーターの皆さんです。映像を見せてくださったり、体験をさせてくださったりして子供たちに分かりやすく一日の仕事内容や働くことに対する思い、自分が大切にしている生き方などを説明してくださいました。

子供たちの感想の一部

私は、調理師さんのお話を聞いて、特に心に残ったのは、「言われたことをやるのは『作業』、思いをもってやるのは『仕事』」という言葉です。この言葉を胸にして、学校生活でも先生に言われずに自分から取り組んでいきたいと思います。

わたしは、スポーツのレッスンなどを仕事としている方のお話を聞きました。わたしはスポーツを習っています。これから必要なことは、「礼儀」「挨拶」「睡眠」「歯」「目」を大切にすることです。この5つを忘れずに頑張っていきたいです。

薬剤師さんというのは、薬局で働くほかに薬について研究している人がいることを知りました。学校に来てくださった薬剤師さんは、薬局でお薬を出すだけでなく、薬を出した人がちゃんと薬を飲んでいるかチェックしに行くなどの仕事もしているそうです。人と話せる人ではないと向いてないと教えていただいたのでコミュニケーションを大切にていきたいと思いました。

多くの職業の皆様からお話を伺うことができ、これから生き方を考えるうえで大変参考になりました。ありがとうございました。



2年生と3年生、レインボー学級も佐鳴台地区の施設や商店の皆さんに、1年生・5年生は佐鳴湖やそこに関わる方々に大変お世話になりました。地域の皆さん、ありがとうございました。